

令和7年における労働災害発生状況

令和8年1月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

令和7年 業種別労働災害発生状況 その1

令和8年1月末現在

北海道労働局

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	48	7,363	7,411	47	8,054	8,101	-690	-8.5	100.0	48	8,585	8,633
製造業	6	1,071	1,077	7	1,078	1,085	-8	-0.7	14.5	7	1,114	1,121
食料品	1	524	525	2	558	560	-35	-6.3	7.1	2	578	580
木材・家具		89	89		102	102	-13	-12.7	1.2		104	104
紙・印刷		23	23		17	17	6	35.3	0.3		17	17
窯業・土石	1	49	50		40	40	10	25.0	0.7		42	42
金属・機械	2	194	196	3	157	160	36	22.5	2.6	3	161	164
その他	2	192	194	2	204	206	-12	-5.8	2.6	2	212	214
鉱業												
鉱山		1	1		2	2	-1	-50.0	0.0		2	2
土石採取業	1	26	27		26	26	1	3.8	0.4		26	26
建設業	15	750	765	17	814	831	-66	-7.9	10.3	18	834	852
土木工事業	8	262	270	8	258	266	4	1.5	3.6	9	263	272
建築工事業	4	274	278	6	364	370	-92	-24.9	3.8	6	371	377
木造建築業	2	86	88	1	99	100	-12	-12.0	1.2	1	105	106
その他	1	128	129	2	93	95	34	35.8	1.7	2	95	97
交通運輸事業	1	287	288		344	344	-56	-16.3	3.9		372	372
陸上貨物運送事業	5	780	785	4	826	830	-45	-5.4	10.6	4	855	859
道路貨物運送	4	723	727	4	780	784	-57	-7.3	9.8	4	804	808
陸上貨物取扱	1	57	58		46	46	12	26.1	0.8		51	51
港湾運送業	1	19	20		19	19	1	5.3	0.3		19	19
林業	5	63	68	4	74	78	-10	-12.8	0.9	4	75	79
水産業		107	107		99	99	8	8.1	1.4		106	106
商業	5	1,094	1,099	3	1,111	1,114	-15	-1.3	14.8	3	1,174	1,177
清掃・と畜業	3	447	450		487	487	-37	-7.6	6.1		504	504
上記以外の事業	6	2,718	2,724	12	3,174	3,186	-462	-14.5	36.8	12	3,504	3,516

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。

※ 死亡災害及び休業災害の件数は、本年・昨年ともに把握した件数である。

令和7年 業種別労働災害発生状況 その2

令和8年1月末現在

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		99	99	2	133	135	-36	-26.7	1.3	2	143	145
畜産業	1	266	267	4	278	282	-15	-5.3	3.6	4	288	292
金融・広告業		52	52		40	40	12	30.0	0.7		45	45
映画・演劇業		1	1		2	2	-1	-50.0	0.0		2	2
通信業	1	195	196		193	193	3	1.6	2.6		198	198
教育・研究業		79	79		72	72	7	9.7	1.1		74	74
保健衛生業		1,277	1,277	1	1,695	1,696	-419	-24.7	17.2	1	1,954	1,955
接客娯楽業		469	469	2	438	440	29	6.6	6.3	2	465	467
その他の事業	4	280	284	3	323	326	-42	-12.9	3.8	3	335	338
合計	6	2,718	2,724	12	3,174	3,186	-462	-14.5	36.8	12	3,504	3,516

「第三次産業」の内訳

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	5	1,094	1,099	3	1,111	1,114	-15	-1.3	14.8	3	1,174	1,177
うち小売業	4	844	848	1	869	870	-22	-2.5	11.4	1	911	912
金融・広告業		52	52		40	40	12	30.0	0.7		45	45
映画・演劇業		1	1		2	2	-1	-50.0	0.0		2	2
通信業	1	195	196		193	193	3	1.6	2.6		198	198
教育・研究業		79	79		72	72	7	9.7	1.1		74	74
保健・衛生業		1,277	1,277	1	1,695	1,696	-419	-24.7	17.2	1	1,954	1,955
うち社会福祉施設		715	715	1	808	809	-94	-11.6	9.6	1	882	883
うち医療保健業		548	548		872	872	-324	-37.2	7.4		1,057	1,057
接客・娯楽業		469	469	2	438	440	29	6.6	6.3	2	465	467
うち飲食店		204	204		181	181	23	12.7	2.8		197	197
うち旅館業		116	116		123	123	-7	-5.7	1.6		128	128
うちゴルフ場		48	48	1	54	55	-7	-12.7	0.6	1	55	56
清掃・と畜業	3	447	450		487	487	-37	-7.6	6.1		504	504
その他の事業	4	280	284	3	323	326	-42	-12.9	3.8	3	335	338
うち警備業	1	74	75		79	79	-4	-5.1	1.0		80	80
合計	13	3,894	3,907	9	4,361	4,370	-463	-10.6	52.7	9	4,751	4,760

令和7年 業種別死亡災害発生状況 [速報]

令和8年1月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全 産 業	48 (10)	100.0	47 (6)	100.0	1	2.1	-3	-7.3
製 造 業	6 ()	12.5	7 ()	14.6	-1	—	-1	-14.3
鉱 業	1 ()	2.1	()		1	—	1	—
建 設 業	15 (1)	31.3	17 (1)	35.4	-2	—	-2	-12.5
交通運輸事業	1 (1)	2.1	()		1	—		—
陸上貨物運送事業	5 (4)	10.4	4 (2)	8.3	1	25.0	-1	-50.0
港湾運送業	1 ()	2.1	()		1	—	1	—
林 業	5 ()	10.4	4 ()	8.3	1	25.0	1	25.0
その他の事業	14 (4)	29.2	15 (3)	31.3	-1	—	-2	-16.7

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)[速報]

令和8年1月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	14 (4)	100.0	15 (3)	100.0	-1	—	-2	-16.7
小売業	4 (2)	28.6	1 ()	7.1	3	300.0	1	100.0
医療保健業	()		()			—		—
社会福祉施設	()		1 (1)	7.1	-1	—		—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	7.1	()		1	—	1	—
ビルメンテナンス業	2 ()	14.3	()		2	—	2	—
ゴルフ場の事業	()		1 ()	7.1	-1	—	-1	-100.0
警備業	1 ()	7.1	()		1	—	1	—
農業・畜産業	1 ()	7.1	6 ()	42.9	-5	—	-5	-83.3
水産業	()		()			—		—
その他	5 (2)	35.7	6 (2)	42.9	-1	—	-1	-25.0

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別・年別・月別死亡災害発生状況 令和8年1月末現在

北海道労働局

業種別	1号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		8-2号		13-2号		その他 の事業		合計							
	製造業	うち木材木 製品製造業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業	小売業	社会福祉施設															
年別																										
平成25年	6		22	7	2		1	4	4	5	1	12	64													
平成26年	4		22	6	2			4	6	7	1	13	65													
平成27年	7		25	10	3	1	1	4		4		10	65													
平成28年	7		30	13	1			5	2	3	2	14	77													
平成29年	8		23	10	2			5	5	4	3	21	81													
平成30年	11	1	17	11				6		6	1	11	63													
令和元年	10		20	6	2			8	1	2		13	62													
令和2年	6	1	14	4	3	2		4	3	2		13	51													
令和3年	3	1	20	8	1			1	3	5		18	59													
令和4年	5		23	5	1			1	2	3	1	12	53													
令和5年	4		6	10	1			4	1	2		23	51													
区分 月別 年別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計		
令和6年	1月			1	1	1	1						1	1							2	2	5	5		
	2月			2	3		1							1				1	1			1	3	4	9	
	3月	1	1	2	5		1							1				1				1	4	4	13	
	4月				5		1							1				1				2	6	2	15	
	5月		1	1	6		1							1				1				2	8	3	18	
	6月		1	2	8	1	2							1				1				2	10	5	23	
	7月	2	3		8		2							1				1					10	2	25	
	8月	1	4		10	1	3							1				1		1	1		10	5	30	
	9月		4		12		3							1				1			1	1	11	3	33	
	10月	1	5		14		3							1				1			1		11	3	36	
	11月		5		18	1	4							2	3			1		1			11	7	43	
	12月	2	7		18		4							1	4			1		1		2	13	5	48	
令和7年	1月	1	1		3	3	1	1						2	2			2	2			3	3	12	12	
	2月	1	2		2	5		1						1	3				2			2	5	6	18	
	3月		2			5	1	2						2	5				2			2	7	5	23	
	4月		2			5		2							5				2				7		23	
	5月		2		3	8		2							5				2				7	3	26	
	6月		2			8	1	3							5				1	3			1	8	3	29
	7月	1	3			9		3							5				1	4				8	3	32
	8月		3			11		3			1	1			5					4			1	9	4	36
	9月	1	4			12		3				1	1		5					4				9	3	39
	10月	1	5			12		3	1	1		1	1		5					4				9	2	41
	11月	1	6			14	1	4		1		1	1		5					4				9	4	45
	12月		6			15		4		1		1	1		5					4			2	11	3	48
対前年 同期比 件数 百分率	-2	-1	±0	±0	1	-3	±0	±0	±0	1	±0	1	±0	1	-1	1	±0	±0	±0	3	±0	-1	±0	-2	-2	±0
	-	-14.3	±0	±0	100.0	-16.7	±0	±0	±0	100.0	±0	±0	±0	100.0	-	25.0	±0	±0	±0	300.0	±0	-	±0	-15.4	-40.0	±0

※ 本統計は業種別の死亡災害発生件数を、発生年又は発生月ごとに記載したものである。

※ 本年は速報値を基に、発生月ごとの件数を記載したものである。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
令和8年1月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		起因物番号													起因物																							
	業種	業種	1	3	4	5	6-2	7-2	8-2	13-2	その他	11	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	42	51	52	61	71	91	92	99
1	墜落、転落	2	8								3	13			2					1	2	1							3	4									
20	2m以上からの	2	4								1	7			1						1	1							4										
21	2m未満からの		4								2	6			1					1	1							3											
2	転倒		1									1		1																									
22	滑り																																						
23	つまづき																																						
24	踏み外し																																						
25	もつれ等																																						
26	その他の転倒		1									1		1																									
3	激突																																						
4	飛来、落下				1						1	2									2																		
5	崩壊、倒壊		1									1																	1										
6	激突され	1				5						6					1											1							4				
7	はさまれ、巻き込まれ	2	2			1		1		5	11		1	1	2				1	4	1								1										
8	切れ、こすれ																																						
9	踏抜き																																						
10	おぼれ	1									1																									1			
11	高温、低温の物との接触		1								1																									1			
12	有害物等との接触		1								1																									1			
13	感電																																						
14	爆発																																						
15	破裂																																						
16	火災																																						
17	交通事故(道路)		1	4	1				2		2	10			3						2	5																	
18	交通事故(その他)																																						
19	動作の反動・無理な動作																																						
27	腰痛																																						
28	転倒もどき																																						
29	その他の動作の反動、無理な動作																																						
90	その他								1		1																										1		
99	分類不能																																						
	合計	6	15	4	1	1	1	5		4	11	48		1	7	2	1		2	10	7							3	1	6				8					

令和7年 署別・業種別死亡災害発生状況
令和8年1月末現在

北海道労働局

業種別	1号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	8-2号	13-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業	小売業	社会福祉施 設		
署別													
札幌中央			1									2	3
札幌東			3	2						1		2	8
函館	1		1					3		1		1	7
小樽													
岩見沢												1	1
旭川												2	2
帯広	1		4		1			1				1	8
滝川			1										1
北見			1	1				1					3
室蘭	1									1		1	3
釧路													
名寄			1										1
留萌													
稚内			1							1			2
浦河	2												2
苫小牧	1			1		1	1					1	5
倶知安 (支)			2										2
計	6		15	4	1	1	1	5		4		11	48

※ 本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和7年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和8年1月末現在

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業					陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率				
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業	木 造 建 築 業	そ の 他 建 設 業	交 通 運 輸 事 業	計	道 路 貨 物 運 送 業				陸 上 貨 物 取 扱 業	小 売 業						そ の 他 商 業			
札幌中央	1,459	119	36	7	2	1	30	43		2	119	22	62	11	24	78	139	125	14	1	1		234	163	71	192	60	122	392	-6.3%		
	1,367	103	43	8	1	1	29	21		2	101	16	53	7	25	88	108	100	8	1		262	184	78	160	62	122	358				
札幌東	1,736	201	114	4	2	3	37	41			157	40	77	17	23	125	255	236	19				315	255	60	175	35	121	352	-12.0%		
	1,528	194	107	4	4	3	39	37		1	146	47	55	18	26	74	227	188	39				285	223	62	172	36	109	284			
函館	739	120	82	7		8	13	10		3	69	27	32	7	3	9	56	54	2	1	8	11	76	66	10	57	8	28	293	-16.0%		
	621	108	62	9		3	24	10		1	73	36	18	13	6	15	47	47		1	13	8	81	70	11	48	19	29	178			
小樽	304	55	34	2			2	17		3	21	9	8	3	1	42	21	21		2	1	2	25	25		42	2	22	66	-25.7%		
	226	48	29	2			5	12		1	16	7	2	4	3	16	26	25	1	1	1	3	25	22	3	25	4	9	51			
岩見沢	235	48	22		1	9	4	12	1	1	33	19	8	4	2	9	25	25					33	33		26	4	11	42	-14.0%		
	202	45	18			9	11	7		2	31	13	8	5	5	3	11	11					23	21	2	11	5	10	60			
旭川	654	84	23	21		4	13	23		4	57	17	32	5	3	15	67	66	1				87	67	20	87	22	40	182	-3.4%		
	632	93	44	12	2	3	10	22		3	76	39	28	7	2	11	67	67					92	67	25	83	24	39	138			
帯広	554	85	52	13		1	9	10		5	60	22	18	8	12	4	60	60		1	17	4	72	58	14	36	14	27	169	-8.7%		
	506	82	41	6			15	20		5	55	17	16	3	19	11	62	59	3	2	10	5	63	49	14	40	12	19	140			
滝川	163	29	11	3	1	2	5	7	1		31	13	14	1	3	3	11	11					24	19	5	11	4	13	32	-6.1%		
	153	33	8	2	2	4	8	9	1	1	20	11	4		5	3	13	13					23	22	1	19	3	8	27			
北見	347	54	30	11		1	6	6		1	48	22	15	8	3	6	25	25					43	27	16	34	3	15	91	-1.7%		
	341	69	37	17		5	6	4			36	15	13	4	4	11	28	28					59	43	16	24	6	19	68			
室蘭	235	22	6			3	9	4			26	5	15	4	2	5	20	20		2	3	1	46	38	8	34	2	20	54	5.1%		
	247	28	8	1		1	13	5		1	26	7	12	1	6	5	17	17					30	26	4	21	9	25	82			
釧路	458		60	12			7	13		2	64	21	27	13	3	13	46	46		3	6	33	48	37	11	34	6	19	92	-11.4%		
	406	81	46	7		2	8	18		2	47	12	25	6	4	9	48	48		7	11	27	41	35	6	40	4	18	71			
名寄	128	29	17	8			2	2			21	10	8	2	1	2	9	9					8	6	2	7	2	3	37	10.9%		
	142	24	8	11		1	1	3		2	22	11	6	2	3	2	13	11	2				14	11	3	5	3	5	29			
留萌	56	10	7	1		1		1			10	6	1	1	2	2	3	3					2	2	3	3		11	1	3	9	-17.9%
	46	11	9	1				1			10	6	2	1	1		4	4					5	7	5	2	4		5			
稚内	100	15	10	2		1		2		1	19	6	6	4	3	1	6	6					1	12	9	5	4	15	6	15	-2.0%	
	98	21	15			2	1	3		1	25	11	8	3	3	3	3	3					20	5	4	1	2		2	16		
浦河	185	9	5	1				3			11	5	2	2	2	2	9	8	1				6	6		2	1	1	129	-15.7%		
	156	6	1	2		1		2		2	9	3	1	4	1		5	5					3	3		4	1	4	114			
苫小牧	610	96	35	9	4	6	23	19		3	64	12	37	8	7	25	75	66	9	9	2		69	55	14	29	15	32	191			
	610	117	37	7	5	15	26	27		2	50	11	22	4	13	33	100	95	5	8	4		70	56	14	49	12	30	135			
倶知安 (支)	138	17	16	1						1	21	10	8	2	1	3	3	3					2	2	16	7	9	17	2	4	50	-5.8%
	130	14	12					2		1	22	8	5	6	3	4	6	6					1	3	16	7	9	8	4	2	49	
合計	8,101	1,085	560	102	10	40	160	213	2	26	831	266	370	100	95	344	830	784	46	19	78	99	1,114	870	244	809	181	487	2,196	-8.5%		
	7,411	1,077	525	89	14	50	196	203	1	27	765	270	278	88	129	288	785	727	58	20	68	107	1,099	848	251	715	204	450	1,805			
対前年比 増減率	-8.5	-0.7	-6.3	-12.7	40.0	25.0	22.5	-4.7	-50.0	3.8	-7.9	1.5	-24.9	-12.0	35.8	-16.3	-5.4	-7.3	26.1	5.3	-12.8	8.1	-1.3	-2.5	2.9	-11.6	12.7	-7.6	-17.8			

※ 本統計は、「業種別労働災害発生状況」を管轄署別に集計したものであり、上段は前年、下段は当年である。

令和7年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	9時台	輸送用機械等製造業	50人以上 99人	墜落、転落	乗物 239	被災者は、船舶の試運転業務において、アンテナにワイヤーが引っ掛かっていたため、マストの垂直はしごに登り、マストの踊り場へ移動して引っ掛かっていたワイヤーを外したところ、踊り場付近のレーダーアンテナが突然回転し、4.8メートル下の甲板まで墜落したものの。
7	2	14時台	電気・ガス・水道業	10人以上 29人	墜落、転落	仮設物、建築物、構築物 414	被災者は、同僚と2名で放水ダムの設備の点検作業に従事していた際、放水口制水門を開閉する巻き上げ機の取付け位置にある開口部を塞ぐ蓋板(重さ約30kg)の位置がずれていたため、2名で蓋の位置を調整しようとしたところ、誤って開口部から蓋板を落としてしまい、蓋板の重みに引っ張られた被災者が開口部から10m以上墜落したものの。
7	7	9時台	窯業土石製品製造業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	動力クレーン等 211	被災者は、クレーンを使用して専用架台に立てかけられていた鋼板19枚のうち1枚を1点吊りでつり上げようとしたところ、鋼板19枚全てが被災者側に倒れ、倒れた鋼板と背後に置かれていた鋼管の間に挟まれたもの。
7	9	13時台	一般機械器具製造業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 169	被災者は、上下開閉式の蓋が設けられた機械設備の修理の作業において、設備の蓋を開く操作を行ったが蓋が開かなかつたため、蓋の確認に行ったところ、蓋が開き、蓋とその付近の架設通路との間で被災者が胸部を挟まれたものの。
7	10	11時台	食料品製造業	10人以上 29人	おぼれ	環境等 713	被災者は、工場の貯溜池において、池に浮く藻を除去する作業を1人で行っていた者が、当該貯溜池で水に浮かんでいる状態で発見されたもの。

令和7年 製造業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	11	15時台	その他の製造業	10人未満	激突され	その他の装置、設備 391	被災者は、馬運車のコンテナ部分である馬箱の補修に係る溶接作業に従事し、馬箱を馬運車から切り離し、馬の昇降用ゲートを角材により持ち上げた状態で補修を行ったが、溶接作業を終了後、馬箱内の確認をしていたところ、角材で持ち上げていたゲートが被災者に向かって倒れ、頭部に直撃したもの。

令和7年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	14時台	建築工事業	10人以上29人	墜落、転落	3 7 2 用具	被災者は、高さ約2メートルの箇所の壁に石膏ボードを貼り付けるため、脚立の上から2段目の踏みさんにまたがって、地面に置いた石膏ボードを持ち上げた際、脚立から墜落したものの。
7	1	10時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	4 1 1 仮設物、建築物、構築物等	被災者は、屋上防水工事のため現場に入場し、外部足場のブラケットに設置した荷の上げ下ろし用電動ウインチを取り外そうとした際、足場の筋かい、下棧等を取り外し、要求性能墜落制止用器具を使用せず作業をしていたため、17.6メートル下の地上部まで墜落したものの。
7	1	15時台	建築工事業	10人以上29人	崩壊、倒壊	4 1 5 仮設物、建築物、構築物等	被災者は、鉄骨造2階建て建築物の解体工事現場において、屋上部の床を支える鉄骨梁をガス溶断していたところ、当該梁を切りすぎたため折損し、屋上の床部分が落下、2階で作業を行っていた被災者が下敷きとなったもの。
7	2	9時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	4 1 4 仮設物、建築物、構築物	被災者は、食料品製造工場の新築工事現場において、天井断熱パネルを屋根骨材から吊った後の吊り具のゆるみの点検作業に従事していたが、天井裏を移動中にブルーシート養生が施された開口部から5.8メートル下の床面まで墜落したものの。
7	2	14時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	2 1 2 動力クレーン等	被災者は、移動式クレーンに積もった雪の除雪作業を行っていた際、移動式クレーンの操作レバー上部の除雪のため、移動式クレーンの基部と荷台の鳥居部分の間に足をかけたところ、足を踏み外し、体がアウトリガーと運転席側の荷台壁面の間に挟まったとみられるもの。
7	5	14時台	建築工事業	10人以上29人	墜落、転落	1 4 2 建設機械等	被災者は、一般住宅新築工事現場の外構作業において、既存の擁壁を嵩上げするため、ドラグ・ショベルを運転し当該擁壁の周囲を掘削して付近に堆積させていたが、当該掘削土をドラグ・ショベルで乗り越えようとしたところ脚部が横滑りして斜面から転落し、その際に運転席から投げ出され、斜面の下部においてドラグ・ショベルの下敷きとなったもの。

令和7年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	5	13時台	その他の建設業	10人未満	有害物との接触	環境等 7 1 4	排水処理場の汚泥槽(コンクリート槽、縦1m×横0.5m×深さ5.3m)の中にある装置の交換作業をするため、換気等の何らの措置を講じずに入槽した。汚泥槽内部の低部付近で異臭が強くなり、脱出しようとしたが意識不明となり、救助後、死亡が確認されたもの。
7	5	8時台	土木工事業	10人以上29人	転倒	建設機械等 1 4 1	被災者は、ブルドーザーを運転して盛土の敷均し作業に従事していたが、ブルドーザーを停止して履帯の上に立ち、姿勢を変えた際、操作レバーに触れてしまったためブルドーザーが前進し、履帯上で転倒して体を打ち付けたもの。
7	7	18時台	土木工事業	10人以上29人	高温・低温の物との接触	環境等 7 1 5	被災者は同僚と共に土場で資材の運搬作業に従事し、午後に資材運搬作業を終え、同僚は土場から離れた。その後当該事業場の幹部職員が土場に訪れた際、倒れている被災者を発見したもの。
7	8	11時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	建設機械等 1 4 4	被災者は、橋梁工事用の作業道の造成のため、乗用のローラーを運転し、砂利道の転圧作業を行っていたところ、路肩からローラーごと転落したもの。
7	8	8時台	土木工事業	30人以上49人	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は、道路パトロール業務において、トンネルの中央線付近にあった動物の死骸を回収するため、道路パトロール車を停車させて作業を行っていたところ、反対車線を走行していた一般乗用車にひかれたもの。
7	9	10時台	土木工事業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 1 4 1	被災者は、農業用水路工事現場において、用水路を埋設した盛土上で取付道路の舗装のための丁張りの作業に従事していたが、被災者の近傍で当該盛土の法面整形作業を行っていたドラグ・ショベルが被災者に向かって後進し、被災者を轢いたもの。

令和7年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	11	19時台	土木工事業	10人以上 29人	墜落、転落	動力運搬機 2 2 1	被災者は、河川敷にあるパークゴルフ場の維持管理業務において、低気圧の接近に伴う河川の増水に備え、コースの設備を回収する作業に従事し、増水して浸水していた管理道をトラックでバック走行していたところ、道路から逸脱して路肩から川へ転落したものの。
7	11	10時台	土木工事業	10人以上 29人	墜落、転落	動力運搬機 2 2 7	被災者は、採石場にて、不整地運搬車を運転して不要土を運搬する作業を行っていたところ、土砂の排出場所付近の法肩から、約100メートル下に不整地運搬車ごと転落したものの。
7	12	8時台	建築工事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	仮設物、建築物、構築物 4 1 8	被災者ら複数名の作業者は、折りたたみ式コンテナハウスを展開する作業に従事し、被災者を除く複数名で壁兼床パネルを支えながら展開しようとしたが、壁兼床パネルを支えきれなくなったため、壁兼床パネルの展開範囲から作業員らは退避したが、一時的に作業場所を離脱していた被災者が壁兼床パネルに走り寄り1人で壁兼床パネルを支えようとしたものの支えきれずに、倒れた壁兼床パネルと基礎コンクリートの間に被災者の頭部が挟まれたものの。

令和7年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	2時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、乗用車による配送業務を行っていたところ、赤信号の交差点に停止していたダンプカーの後方に追突した。災害発生当時、路面は濡れていたが、ブレーキ痕は見当たらなかった。
7	3	11時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、セミトレーラをけん引して走行中、路面がアイスバーンのためカーブでスリップして路肩に転落し、キャビンが電柱と接触した。
7	6	10時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、大型トレーラーによる運搬業務中、カーブに差し掛かったところ、速度超過のため路外に逸脱して横転し、運転席の外部へ投げ出され、車体の下敷きとなった。
7	8	5時台	陸上貨物取扱業	30人以上 49人	飛来、落下	トラック 2 2 1	被災者は、セメント粉が入ったタンクローリーの荷台上で作業を行っていたところ、タンク上部にある鉄製の注入口ハッチの蓋が飛来し、被災者の顔面に直撃した。
7	11	15時台	道路貨物運送業	50人以上 99人	交通事故（道路）	建設機械等 1 4 9	被災者は、貨物トラックを運転して公道を走行中、対向車線走行中のコンクリートポンプ車がブラックアイスバーン状態の凍結路面でスリップして車線をはみ出し、被災者運転の貨物トラックと接触した。

令和7年 林業災害における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	10時台	林業	10人未満	激突され	車両系木材伐出機械等 171	被災者は、チェーンソーと木材グラップル機との共同作業においてチェーンソーによる作業を担当し、被災者が受け口、追い口を作った立木をグラップル機が引き倒し、木寄せしたところ、木材グラップル機又はつかんでいた立木が被災者に激突したものの。
7	1	15時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていたが、作業終了時刻になっても戻らず、伐倒木の下で倒れた状態で発見されたもの。
7	2	9時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーによる立木伐倒作業に従事していたが、伐根直径約50cmの立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業の補助としてクサビを打つ作業を行っていたが、伐倒中の立木が伐倒方向と逆方向に倒れたことから退避したところ、倒れた立木がすでに伐倒していた木に当たり、退避していた被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業を行っていたが、伐倒木の伐倒方向が想定からずれたことにより、伐倒木が跳ね、被災者に激突したものの。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	6時台	小売業	30人以上 49人	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は新聞配達作業に従事する労働者で、顧客宅付近にて乗用車から降りていたところ、坂の上から走行してきたタイヤショベルが路面凍結によりスリップし、停車しきれず被災者の乗用車に追突し、これに押される形で被災者が当該乗用車に轢かれ下敷きになり、さらに同方向からやってきた別の乗用車が被災者の乗用車に追突したため、下敷きになったまま2mほど引きずられ死亡したものの。
7	1	13時台	その他の事業	30人以上 49人	墜落、転落	仮設物、建築物等 415	被災者は、同僚とともに高さ5.7mの屋根の上にて、墜落防止措置を講じず、スコップを使用して雪下ろし作業をしていたところ、屋根に堆積していた雪が滑り落ちたことで、背部から雪がなだれ込み、足をとられ、屋根の端から墜落したものの。被災者は2名、うち1名が死亡した。
7	1	15時台	その他の事業	10人以上 29人	交通事故（道路）	乗物 231	被災者は、社用車で出張先から所属事業場に戻る際に高速道路を走行中、インターチェンジ付近でクッションドラムに衝突したものの。
7	1	14時台	通信業	300人以上	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったものの。
7	2	8時台	警備業	50人以上 99人	墜落、転落	用具 372	被災者は、廊下の電球の取替作業のため脚立を使用していたところ、脚立の上から転落し、額を床にぶつけたものの。
7	3	13時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 162	被災者は、金属くず及び産業廃棄物の破砕処理を行うプラント内の風力選別機から異物を除去する作業中、風力選別機の回転部に、右腕と頭部が巻き込まれたものの。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	2	13時台	清掃・と畜業	10人未満	墜落、転落	3 7 2 用具	被災者は、蛍光灯の交換のために高さ1.5メートルの脚立を使用していたところ、脚立上でバランスを崩し墜落したものの。ヘルメットは未着用であった。
7	3	9時台	その他の事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	2 2 9 動力運搬機	被災者は、他の作業員とともに立体駐車場の定期点検を行っていたが、上階に移動するために搬器に乗り込み、別の作業員が操作盤で搬器を動かしたところ、搬器の外枠の支柱とガイドレールに被災者の頭部が挟まれたものの。
7	1	5時台	小売業	50人以上99人	交通事故（道路）	2 3 1 乗物	被災者は、新聞配達業務中、他者が運転する自家用車の後部座席に乗り道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップし、道路脇の電柱に激突したものの。
7	6	13時台	清掃・と畜業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	1 2 1 動力伝導機構	被災者は、観覧車の点検台の上で、観覧車を運転した状態で、動力を受ける内輪に注油作業をしていたところ、動力を伝達する歯車と内輪との間に挟まれたものの。
7	6	13時台	小売業	10人以上29人	はさまれ、巻き込まれ	2 3 9 乗物	被災者は、顧客自宅前の坂道に車を停めた後、車両から離れたところ、当該車が逸走し始めたため、とっさに車両を止めようと車両の進行方向の前方にまわったが停止させることができず、ガードレールと車に下腹部を挟まれたものの。
7	7	2時台	小売業	10人以上29人	その他	7 1 9 環境等	被災者は、自転車で住宅街の新聞配達中、熊に襲われたものの。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	8	14時台	卸売業	10人未満	飛来、落下	動力運搬機 2 2 2	被災者は、フォークリフトのフォーク部に小型のドラグ・ショベルを乗せて持ち上げた状態にした後、ドラグ・ショベルの下に潜り込んで作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルがフォーク部から滑り落ち、被災者に当たったもの。
7	9	18時台	港湾運送業	30人以上49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 2	被災者は、荷捌き場において、伝票をトラック運転手に渡す業務を行っていたところ、後進してきたフォークリフトに轢かれたもの。
7	10	22時台	道路旅客運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、タクシーの運転業務中、交差点を直進していたところ、交差点に進入してきた乗用車に側面から衝突されたもの。
7	12	10時台	畜産業	30人以上49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 4	被災者は鶏のひなの育成舎において、除糞チェーンコンベヤー終端付近の清掃作業の為、当該コンベヤーを停止させ、付近の壁にこびりついた糞をスクレーパーでこそぎ落としていたところ、何らかの原因で当該コンベヤーが動き出し、被災者が巻き込まれたもの。
7	12	12時台	土石採取業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 4	被災者は、砂利砕石プラント構内において重機による砂利の運搬作業等に単独で従事していたが、昼休みになっても事務所に戻らなかったため、事業者が構内を捜索したところ、稼働しているベルトコンベアのプーリー部分に上半身が巻き込まれている状態の被災者を発見したもの。

死亡労働災害の概要(令和8年1月把握分)

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況